

は、ワークの進捗状況と現状の問題点が報告されました。

トラック2

■ セキュリティ市場調査 WG

セキュリティ市場調査WGメンバー菅野泰彦氏（アルプスシステムインテグレーション株式会社）より2010～2011年度セキュリティ市場調査結果と2012年度の展望について発表されました。従来は経済産業省の委託事業という枠組みから、年度末にその年度までの推定実績と翌年度の見通しを報告書として提供していましたが、2010年度からはJNSA独自調査として調査を実施し、WGメンバーで1年間調査結果の検討と議論を重ねており、その結果の報告と2012年度の展望についての発表がありました。

■ セキュリティ被害調査 WG

セキュリティ被害調査WGリーダー大谷尚通氏（株式会社NTTデータ）より、2011年のインシデント発生確率の調査結果が報告されました。2010年の同調査の項目の一部を引継いだ、企業における携帯電話／パソコン／USBメモリの紛失と盗難、電子メールの誤送信について、また、新たに加えられたSNSに関する調

査についても報告がされました。これらに加えて、利用者の普段の行動の分析の元、インシデント発生と行動特性の関係についても解説されました。

■ 日本セキュリティオペレーション事業者協議会 (ISOG-J)

ISOG-Jメンバー田島正弘氏（NTTデータ先端技術株式会社）より、「サイバー攻撃の変遷に伴う、ISOG-Jへの期待の変化と今後」というテーマで情報共有に関連した官民連携の活動について、また、今後のISOG-Jの向かうべき方向について報告がありました。

■ 情報セキュリティ対策マップ検討 WG BoF

標的型攻撃時代に必要な情報セキュリティ対策マップとは」というテーマでBoFが行われました。

コーディネータ:

奥原雅之氏（富士通株式会社/情報セキュリティ対策マップWGリーダー）

パネリスト:

加藤雅彦氏（株式会社インターネットイニシアティブ）

二木真明氏

やすだなお氏（株式会社ディアイティ）



情報セキュリティ対策マップ検討 WG BoF

昨今、標的型攻撃には多層型防御が必要といわれており、情報セキュリティ対策の網羅的な可視化手法はますますその重要性が増すと考えられます。今求められている「情報セキュリティ対策マップ」はどのようなものか、について、ディスカッションが進められました。

■ SNS セキュリティ WG BoF

「SNSの安全な歩き方～被害状況・対策方法・ベストプラクティス～」というテーマでBoFが行われました。

パネリスト：

- 高橋正和 氏 (日本マイクロソフト株式会社)
- 長谷川長一 氏 (株式会社ラック)
- 守屋英一 氏 (日本アイ・ビー・エム株式会社)
- 柳澤智 氏 (富士通株式会社)

昨年10月の設立時から行っているSNSセキュリティの調査結果に基づいた現在のSNSにおける「実被害の状況」、利用者が「実施可能な対策」、そして、WGメンバーのSNS利用におけるセキュリティ対策と考え方についての調査結果から、「SNS利用のベストプラクティス」が紹介されました。会場からも様々なご意見やご質問が上がり、活発な討論の場となりました。

JNSAでは、今後も各ワーキンググループの活動を中心に、様々なアプローチによる情報を発信し、情報化社会に貢献すべく努めて参ります。どうぞご期待下さい。



SNS セキュリティ WG BoF